

若い力で地域福祉に貢献

西陵高介護福祉系

実践的に学ぶ生徒の活動紹介

高齢者や障害のある人たちの福祉、介護について実践的に学んでいる西陵高校介護福祉系列の生徒らの活動を紹介します。



動物介在療法の効用について学ぶ生徒たち

「動物介在療法」講習会

3年生32人が2月9日、動物と触れ合っ
て心癒やす、動物介在療法(アニマルセラピー)を学びました。
病院や福祉施設でア

ニマルセラピーを実践するNPO法人「アニマルファンフェアわんとほーむ」の向宇希さん(1)を講師に招き、障害のある人や高齢者が、

動物との触れ合いを通して、どのような影響や効果があるかを学習しました。

教室内には、ポニー型の遊具に乗ったり、小型犬と触れ合ったりするコーナーが設けられました。

また、免疫力が低下して動物と直接触れることができない人や動物が苦手な人などに

徘徊高齢者の搜索訓練

早期発見、情報提供を呼び掛け

介護福祉コース2年生14人が、昨年12月、イオンタウン名西で行われた「はいかい高齢者おかせり支援事業」の模擬訓練

パネルを展示し、買い物客に呼び掛けました。

「はいかい高齢者おかせり支援事業」の模擬訓練

この支援事業は、認知症の人の徘徊(はいかい)による事故を防ぐため、地域の協力を得て徘徊している人を早期に見つける取り組みです。

授業で学び、皆で作った認知症についての

徘徊の恐れがある人

は、ぬいぐるみで対応しているということに注意されました。

実際に犬に触れた生徒は「かわいいただけではなく、脳が活性化して、動物に話し掛けることで発声・発語が増えたり、コミュニケーションにも影響があったりする」と話して驚きました」と話しました。

この支援事業は、認知症の人の徘徊(はいかい)による事故を防ぐため、地域の協力を得て徘徊している人を早期に見つける取り組みです。



買い物客に呼び掛ける生徒たち

どのよう
に接した
ら良いの
か、寸劇
で分かり
やすく説
明しまし
た。また、
買い物客
らとともに
に配信さ
れた徘徊
者役の特
徴などの
情報をもとに店内を捜
索。発見したら、前か
ら優しく丁寧に、注意
しながら声を掛け、情
報を提供する流れで模
擬訓練をしました。

親子で和菓子作り

愛知菓
子会館

練り切り使い本格的に

一般財団法人愛知菓
子会館主催の「親子の
工を習うなど、本格的

その場でモニターに大
きく映され、あつとい
う間に美しく成形され
る和菓子を見て、親子
からは、ため息や歓声
が上がりました。

住宅

CBC
ンケ

西警察署
盗の抑止
防犯キャ
月21日、
ング名駅
で行いま
愛知県
協会の防
ーが、安
テムや防
を紹介し、
談に応じ
アドバ
敦さんは
焼き破り、
こじ破り
の侵入が
大半で、
入するの
少しでも
間が掛る
うな環境
することが
大切」と
ガラス破
防犯シー
やロック